

劇団風の子演劇鑑賞

10月20日(金)

よい時間、よい空間でした。「次は演劇を」とコロナ禍で見送った演劇鑑賞が実現できました。「がんばれ、かわず君」祖母と暮らすことになったたけし君と河童のかわず君の出会いと別れが描かれます。互いに、いとおしい存在だと感じながら、人間と河童の違いか



ら、共には暮らせない。そうした葛藤から決断する主人公。

空想の世界、相手を大事にする心など劇の世界に引き込まれました。また、演劇に興味のある子どもたちも少なくなく、6人で演じ分けることに驚きもあったようです。何より、幼稚園児が一緒でも温かい雰囲気でした。

お礼の言葉は6年生の吉竹崇次郎さん。演劇に触れた楽しさと興味の広がりを自分の言葉でしっかりと伝えてくれました。

